

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	5	-	事業名	平和行政事業	担当部課	総務部 行政課
------	---	---	-----	--------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	-			
		分野別項目	-			
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成26年9月に行った非核平和都市宣言が市民の心に平和の象徴として刻まれるよう、平和活動に尽力するための啓発及び催事等を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民の平和に対する意識				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦争の悲惨さや平和の尊さを市民が主体となって事業の発案をし、継続していけるように後方支援を行う。				
	事業を構成する事務事業	① 平和行政事業	改善・見直し	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	1,408
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	5,041
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	6,449

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	原爆写真パネル展の観覧者数	人	目標	-	-	-	100
			実績	-	-	-	100	
B	中学生広島体験学習事業応募者数	人	目標	-	-	-	60	
			実績	-	-	-	88	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A パネル展示の観覧者数の増減から、市民の平和行政に関する関心度の高さが判断できる。								
B 体験学習への応募者数の増減から、市民の平和行政に関する関心度の高さが判断できる。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 千葉県我孫子市では、平和事業推進市民会議を設置して協議を重ね、平和事業を推進している。また、東京都小平市においても、市の非核平和事業のあり方について、市民懇談会を設置し、行政との協働により平和事業の推進に取り組んでいる。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成27年度から事業を開始し、目標と実績が同じとなった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 啓発事業が少なく効果に広まりがないため、市民を巻き込んで広く効果的な啓発活動ができるとよい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 例年実施している平和事業を定着させながら、新たに市民で構成する「長久手市平和事業推進委員会」を設置する。市と市民の取組が両輪となり、互いの特性に応じた役割を担うことで、継続性のある平和事業の取組の拡大を図る。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	平和行政事業							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	平和行政事業												
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を対象に、原爆写真パネル展及び中学生広島平和体験学習事業を年一回、終戦記念日前後に実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に語り継ぐことで、市民の平和に対する意識の醸成を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,523
		決算				1,408

3. 活動推移

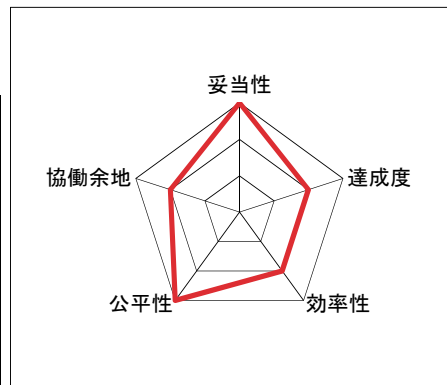
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
原爆写真パネル展の観覧者数	人	目標	-	-	-	100	
		実績	-	-	-	100	
中学生広島体験学習事業応募者数	人	目標	-	-	-	60	
		実績	-	-	-	88	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 非核平和都市宣言を行ったことによって、市民が未来に渡って平和で豊かな暮らしを育くみ、文化的な暮らしを楽しむことができるよう、市民の思いを尊重した事業の取組を推進していく。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 2つの活動について、概ね目標を達成できているが、次年度は市民で構成する「長久手市平和事業推進委員会」を設置し、年間スケジュールや事務事業を見直しながら効果的な事業実施に努める。 また、平和首長会議参加団体等と情報共有し、本市にふさわしい啓発事業を実施する。
